

ディスクイメージファイル チェックツールの利用方法について

1. 動作概要

当ツールを実行することにより、取得したディスクイメージが以下の障害のために壊れているか検証を行います。実行するとディスクイメージ保存フォルダ配下のすべてのディスクイメージを順番にチェックします。

(障害の概要)

ディスクイメージの取得時に、「Linux 領域を高速モードでイメージ取得する」のオプションを有効にして NTFS でフォーマットされたパーティションを含む領域を取得すると、ディスクイメージが壊れた状態で取得される場合があります。壊れたディスクイメージを配信すると、対象 PC は起動できなくなります。

なお、配信実績のあるディスクイメージにつきましては、当障害に該当せず、問題のないディスクイメージとなります。

(留意事項)

当ツールをご利用いただく際は、以下の点にご留意下さい。

- 1) ディスクイメージ検証中、CPU 使用率が高まる場合があります。
開発元検証環境においては、平均的に 50%程度、最大で 100%使用する場合があります。
- 2) ディスクイメージの検証には、1 イメージあたり数分程度かかる場合があります。

2. チェックツール利用方法

以下の手順に従い、チェックツールを実行します。

- 1) システムリカバリサーバ上の適当なフォルダ上に、チェックツールを配置します。
例) C:¥temp
- 2) チェックツールを実行すると、以下のファイルが展開されます。
 - scwimgck.bat
 - bin¥scwimgck.exe
 - bin¥scwimgck.vbs
- 3) **scwimgck.bat** を実行します。

```
C:¥temp> scwimgck.bat
```

Windows Vista ご利用時の注意事項

Windows Vista をご利用の場合は、チェックツールを正しく動作させるために必要な権限を取得できるよう、チェックツールを管理者として実行してください。

- 4) 出力結果を確認します。
 出力結果として、正常なディスクイメージの一覧、異常が検出されたディスクイメージの一覧を表示します。異常が検出されたディスクイメージはご利用頂くことができませんので、削除して頂きますようお願い致します。

出力結果の確認方法については、「3.出力結果の確認」をご確認ください。

3. 出力結果の確認

```

C:\>コマンド プロンプト
D:\%scwimgck%\scwimgck>scwimgck.bat

Verifying files in the directory: D:\%SystemcastWizardData

Filename : d:\systemcastwizarddata\cloneimg\linkimg\diskimg.fcp
Process may take several minutes...
Linked image file will not be checked.

Filename : d:\systemcastwizarddata\cloneimg\scwst1-2008-01-04-2pt\diskimg.fc2
Process may take several minutes...
パーティション 1 : 正常
パーティション 2 : 正常
パーティション 3 : **異常**
パーティション 4 : 正常

Error detected!

Filename : d:\systemcastwizarddata\cloneimg\simple\diskimg.fc2
Process may take several minutes...
パーティション 1 : 正常

Valid iamge

[Result]
Valid files      : 1
Invalid files    : 1
Unchecked files  : 1
-----
Total files      : 3

[Valid files]
#      Filename
-----
1      d:\systemcastwizarddata\cloneimg\simple\diskimg.fc2

[Invalid files]
#      Error  Filename
-----
1      1      d:\systemcastwizarddata\cloneimg\scwst1-2008-01-04-2pt\diskimg.f
c2

[Unchecked files]
#      Filename
-----
1      d:\systemcastwizarddata\cloneimg\linkimg\diskimg.fcp
->d:\%pq_image%\broken\diskimg.fc2

続行するには何かキーを押してください . . .
D:\%scwimgck%\scwimgck>
  
```

各ファイルの検証結果

検証結果の要約（総数表示）

チェックツールによる検証の結果、問題が検出されたディスクイメージの一覧です。エラー値の詳細は以下を参照してください。

| 表示名 | 意味 |
|-----------------|---|
| Valid Files | チェックを行った結果、正しいことが確認されたディスクイメージの総数を示します。正しいことが確認されたディスクイメージは、ディスクイメージの配信に使用することができます。 |
| Invalid Files | チェックを行った結果、不正であることが確認されたディスクイメージの総数を示します。不正なディスクイメージについては、配信をしないでください。 |
| Unchecked Files | チェック対象となったフォルダ内に存在する「リンクインポートファイル」の総数を示します。リンクインポートファイルは、イメージチェックツールではチェック対象としないため、「Unchecked files (未検証ファイル)」として表示されています。 一覧に表示されているファイル名が、実際のディスクイメージを示していますので、チェックツール実行時にディスクイメージを格納しているディレクトリを指定して、チェックツールを実行してください。 |
| Total Files | チェック対象となったフォルダ内に存在するディスクイメージの総数を示します。「Valid files」、「Invalid files」、「Unchecked files」の合計です。 |

正常なディスクイメージの一覧

チェックツールによる検証の結果、問題が検出されなかったディスクイメージの一覧です。

異常を検出したディスクイメージの一覧

チェックツールによる検証の結果、問題が検出されたディスクイメージの一覧です。エラー値の詳細は以下を参照してください。

| エラー値 | エラー内容 | 対処方法 |
|------|------------------------|---|
| 1 | 本現象に該当するディスクイメージです。 | このディスクイメージはディスクイメージの配信処理に使用せず、破棄してください。 |
| 2 | イメージチェックツールのプログラム内部エラー | チェックツールと同じ場所にあるログファイル(scwingck.log)を取得し、弊社サポートセンタへお問合せください。 |
| 3 | ディスクイメージオープンエラー | ディスクイメージにアクセスできませんでした。 イメージチェックツールを動作させるためには、ディスクイメージに対して読み取り権限が必要です。ツールを実行しているユーザに対して、ディスクイメージの読み取り権限を設定した後、再度イメージチェックツールを実行してください。 |
| 4 | ディスクイメージアクセスエラー | 本現象が原因ではありませんが、ディスクイメージが壊れています。再度イメージを取得しなおしてください。 |
| 5 | メモリ不足 | ディスクイメージをチェックする際に必要なメモリが不足しています。他に起動しているアプリケーションを停止してから再度実行してください。 |
| 6 | 不明なディスクイメージ | 不明な形式のディスクイメージです。 瞬快 Rel.6.0 で採取したディスクイメージか確認してください。瞬快 Rel.6.0 で採取したイメージである場合、イメージが壊れている可能性があるため再度イメージを取得しなおしてください。 |

未検証ディスクイメージの一覧

本ツールではリンクインポートしているディスクイメージのチェックは行いません。お手数ですが、リンク元フォルダを指定して、再度本チェックツールを実行してください。

4. 備考 (チェックツール コマンド書式)

チェックツールはコマンドラインツールとしてご提供します。

ディスクイメージをリンクインポートされている場合等にご利用ください。

書式は以下の通りです。

| | |
|------|---|
| 書式 : | <code>scwingck.bat /h</code> または <code>scwingck.bat [[/r] 検証対象フォルダ名]</code> |
| 引数 : | <p>/h 本チェックツールの使用方法を表示します。</p> <p>/r 問題のあるディスクイメージが検出された場合、そのディスクイメージの拡張子を <code>.fc2</code> から <code>fc\$</code> に変更します。拡張子が <code>fc\$</code> に変更されると、システムリカバリ機能から参照できなくなり、そのディスクイメージは使用できなくなります。本引数は省略可能です。</p> <p>検証対象フォルダ名 検証を実施するディスクイメージを保持するフォルダの名前を指定します。省略すると、標準のデータフォルダを検証対象とします。 なお、フォルダにサブフォルダがある場合は、すべてのサブフォルダを検証対象とします。</p> |

例 1) 標準のデータフォルダを検証対象とする場合

```
C:¥temp> scwingck.bat
```

例 2) D:¥data を検証対象とする場合

```
C:¥temp> scwingck.bat D:¥data
```

例 3) D:¥data を検証対象とし、問題の検出されたイメージは、その拡張子を `.fc$` に変更する場合

```
C:¥temp> scwingck.bat /r D:¥data
```

以上